

2022年度AED訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2024年度分)

団体名	株式会社アクティング		
			
			

普通救命講習で学ぶ内容だけではなく、実際に救命活動が必要な場面で、焦らずに対応できるように、実際の場面を想定した「ケーススタディ」を取り入れました。

ケーススタディの際は、救急車を呼ぶときのシミュレーションを行ったり、救急車が来るまでの時間、AEDを取りに行く時間なども、実際の想定時間に近づけ、よりリアルな体験が出来るようにプログラムを設計して行いました。

また、ケーススタディ終了後に、「顔見知り同士で行ったのでうまく連携できたが、知らない人同士だった場合はどうなると思うか」、「人を呼んで、すぐに人が集まってくれるか」など、様々な問い合わせを行い、グループのメンバーでディスカッションを行うことで、自分たちがもしその場面に遭遇したときのことをより深く考えるようにしました。

このように、実際の場面を想定して行い、考える事により「自ら動く必要性」「積極的に行動することの大切さ」をより実感してもらいたいと思い、ケーススタディ+ディスカッションを行いました。